

## 気象庁の注意報・警報

Advisories/warnings by the Meteorological Agency

大雨や強風などにより災害が起こるおそれのあるときは「注意報」、重大な災害が起こるおそれのあるときは「警報」、重大な災害が起こるおそれが著しく大きいときは「特別警報」が発表されます。

The Meteorological Agency issues an "advisory" when there is risk of a disaster due to a heavy rain or strong wind, "warning" when there is risk of a serious disaster and "special warning" when there is extremely high risk of a serious disaster.



### 注意報(警戒レベル2) Advisory (Alert level 2)

最新情報に注意し、災害に備えて早めに準備しましょう。

Pay attention to latest information and make early preparations against a disaster.



### 警報(警戒レベル3) Warning (Alert level 3)

町が発表する避難情報に注意し、必要に応じ速やかに避難しましょう。

Pay attention to evacuation information announced by the town office and evacuate immediately when necessary.



### 特別警報(警戒レベル4) Special warning (Alert level 4)

避難情報に従い直ちに避難!外出が危険なときは、家の中でも安全な場所へ!

Evacuate immediately according to evacuation information! If it is dangerous to go out, go to the safest place in your house!

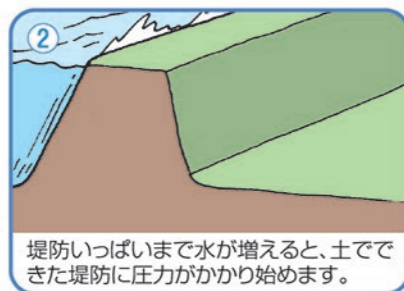


## 洪水についての基礎知識

### ●外水はらん



① 大雨や雪解けによって、川の水量が増え、水かさが増え始めます。



② 堤防いっぱいまで水が増えると、土でできた堤防に圧力がかかり始めます。



③ 水圧に堤防が耐えられなくなると、一部が崩れ始めます。



④ 堤防の崩れた場所を通過して勢いよく水が流れ出し、家に襲いかかります。

### ●内水はらん



① 街などに降った雨は、下水道(雨水管)を通過して川に排水されます。



② 大雨が降ると、川の水位が上がり、排水されずにあふれてしまいます。

## 風水害時の心得

近年、全国各地で台風や集中豪雨などによる洪水や土砂災害が発生しています。集中豪雨や暴風雪などによる災害はいつ起こってもおかしくありません。

陸別町でも過去幾度も大雨による被害を受けており、注意が必要です。

### 被害を減らす心得

- 日頃から気象情報を見て、天候の変化に注意しましょう。
- 屋外と屋内の大雨・強風対策をしましょう。
- 避難勧告などが発令されたときや、危険を感じたときはすぐに避難しましょう。
- 浸水時など状況によっては建物内に待機するほうが安全な場合もあります。状況により判断しましょう。

### 避難するときの注意

危険を感じたら自己判断で避難することも必要です。浸水や土砂災害が起こる前に、安全に避難するようにしましょう。

- 警報などが発表されなくても、危険を感じたら早めに避難する。
- 避難は複数人で、基本は徒歩で行う。
- 長靴での避難は避け、履きなれた靴で行う。
- 浸水しているときは、足元などを棒で注意しながら側溝や水路に注意する。
- 子どもはロープなどでつなぎ、はぐれないようにする。
- 浸水の状況によっては、頑丈な建物の2階以上へ避難する。
- 警報や注意報が解除されるまで、警戒を続ける。



## 暴風雪に備えて

### 屋外で 視界不良(ホワイトアウト)により方向感覚を失い、自分がどこにいるのか分からなくなるため

- 商店やコンビニ、人家など建物の中の安全な場所へ移動して天候の回復を待つ。
- 歩行中は風で飛ばされてくる物に注意する。
- 重ね着や肌の露出を少なくし、体温の低下を防ぐ。

### 屋内で FF式暖房機などの吸排気口がふさがれて、一酸化炭素中毒にならないために

- 吸排気口がふさがれていないか確認。
- 出入口確保のため吹きだまりの状況を見て除雪する。



### 車の運転中

#### ① 運転中に暴風雪となり視界が悪くなったときは、そのまま運転を続けず

- 道の駅、コンビニなどで天候の回復を待つ。
- 気象情報や道路情報を確認。

#### ② 途中で立ち往生をしてしまったときは、後続車からの追突を避けるために

- ハザードランプを点滅、停止表示板を置く。
- JAFなどのロードサービス、近くの商店や人家などに救助を求める。
- 避難できる場所や救助を求められる人家が近くにない時は警察・消防に連絡して救助を求める。



#### ③ 車内で救助を持つときは、排気ガスによる一酸化炭素中毒や低体温症に十分注意が必要なため

**原則エンジン停止**  
一酸化炭素中毒の危険をさけるためエンジンを切ることが大切です。防寒着や毛布、新聞紙などで体温の低下を防ぎましょう。

**一酸化炭素中毒の危険性**  
車が雪に埋もれたときにエンジンをかけると排気ガスによる一酸化炭素中毒の危険性が生じます。埋もれる深さが深いほど危険度が上がります。

**エンジンをかける時には**  
防寒などでやむを得ずエンジンをかける時は排気管出口を確実に大気へ開放し、追加の降雪や吹きだまりによる再埋没に注意しましょう。

**窓を開けていても安全ではありません**  
風向や窓の開度によっては窓を開けていても閉めているときより一酸化炭素中毒の危険性が高くなる可能性があります。

